川口町公民館報

公民館報

第38号

発行人 星野輝政
編集人 金子真
印刷所 山勝堂印刷所

こどもたちにテレビを

―町内全学校にテレビ設置きまる―

民主教育の推進に重要な役割を果すものとして視聴覚教具の利用が上げられている。次代を背負つて立つ児童、生徒によい環境をと思う気持ちは何人も認めるところであろう。最近汽車や、バスにのつて窓外に目を転ずると屋根の上に無数のテレビのアンテナが立つているのが見える。

此の町も二十台余りのテレビが入つているが第二の国民育成の場である教育の殿堂に可急的それらの設置することの急務であることの声が高まりつゝ今日に至つた。幸にして此のたび本校分校共に八月末日迄にテレビ（全放送型十七吋）が全学校に設置することになつたことは川口の教育に新しい一ページを加えたことであり心から喜びに堪えない次第である。

テレビを納品する会社は日本ビクター株式会社となりこのビクターを指名する迄の経過を記録すると沢山な優秀メーカーがあるなかから一ツのメーカーを選定するにはあまりにもむづかしいので去る七月二十五日午後一時に川口中学校でメーカーのテレビ展示会を行え各学校長並に視聴覚主任の先生方から一定の観査方式によつて審査会を設け。当日展示会に出品したメーカーは五ツあつたので各メーカー一品一台毎に綿密に調査を施した結果前記のビクターが指定するに適当である数的具体的結果があらわれたので川口町教育委員会に諮り更に川口町議会の最後的決定を経たので各校区民始め児童生徒の双手を挙げて待つたテレビが愈々茲に実現する運びとなつたことを一般に周知し学校教育に深い認識と理解ある御協力を更にお願いするものである。

社会教育の中心は

東部地区館長 小林馨

社会教育推進上の中心的役割を負う公民館運動は、広汎なる日常実生活の向上を目指して明日への糧となる事業を計画推進するもので、その重要性は今更申す迄もありませんが、現状に於ては公民館的な何物も設備し得ず、従つて僅少なる予算内でこの運動を持続し行く事は非常に困難な問題でありますが、即効的な効果をあせらず一歩々々と着実に所民の温い手で育てゝ行くならばやがては住民全体の中に力強く根を下した大きな足並に変つて行くものと考えます。

今回分館統合を行い新しく地区館制度に切換えたのた機に、計らずも東部地区館長の重責を負う事となり、その器ではありませんが、浅学微力にむち打つて御引受致しました次第ですが、各位の御指導御協力をお願い致します。

扨て本年度は社会体育指定町となりましたのを機に、事業面にこの主旨も組入れ、健康で明るい町作りを目標に、社会体育の普及と、よき世論の醸成につとめたいと念願致し、次の如く事業計画を作りました。

各位の御理解と御協力のもとに進んで御参加下さる様お願い致します。

昭和三十四年度 事業計画 東部地区公民館

町民ハイキング
民踊の夕
町民大運動会
講演会（併催）
婦人講習会
青年指導者懇談会
映画鑑賞の夕
手芸作品展
新春カルタ大会
町民娯楽大会
◎研究課題として世論の醸成を兼ねての懇談会
小学校々舎設立促進
冠婚葬祭の公民館営について

社会教育法に基き

……地区館長任命さる……

川口町公民館の運営強化推進のため組織改め左記の通り地区館長が任命された。

地区館名	氏名
和南津地区分館長	喜多村喜市
中山地区分館長	村山道能
東部地区分館長	小林馨
西川口地区分館長	関登代一
田麦山地区分館長	大渕寅松
木沢地区分館長	小林三千三
上川地区分館長	鈴木栄次郎

就任の挨拶

川口町助役 佐藤邦平

このたび助役就任に当り御挨拶申上げたいと存じます。

不精者の私が六月二十七日の議会で、満場の御同意を頂けた事は私の身に余る光栄でありまして、その悦び実に禁じ難いものが多分にございます。

私は昭和二十年終戦の翌春当時の農業会勤務から助役として迎えられ、三十年の四月迄勤続して居りましたが、此度の就任迄家業に専念して参りましたので、社会状勢変化の著しい今日、而も政治的空白が四年間もあり、果して此の重責が完うし得るかどうか御支援頂きました皆様の御期待に添へ得るかどうか甚だ疑しきものがありますが、一生懸命町政を勉強して一日も早く空白を取り戻したい考えであります。

私元より浅学非才でありまして何の用にも立ち得そうもありませんが、四年間一町民として自己反省の機会を得え政治の流れから受ける恩恵の角度で思考出来た事は、又あながちマイナスのみではなかつたと考え無らず迫らず行政に参画したいと思います。何れの町村にあつても教育費の財政需要に占める比重は大きいようでありまして、川口町に於ける今後の増大は必至と思われます。私も野に在つて何んの制肘も受けない立場での奇想天外な発展策は色々考えられましたが、然し乍ら農村町であるだけに農林振興に力を注ぐ事は言を俟たないのでありますが、川口町の立地条件からせめて住宅を増設して、消費人口の確保をはかり得たならば、商工の繁栄も又期して待つべきものがあろうかと存じます。

なんとしても町政の前途には尚難懸案件が山積しておるようでありまして、私も又その責任の重大なるものな痛感して居る次第であります。

大淵新町長は先ず第一に明るい政治を実現することを強調して居りますし、施政方針にもいろ〳〵申述べられてありますが、なかんづく財政計画等について町民各位の御協力を要請して居りますので、私もその方針に沿い町長の良き助役として、又町民皆様の良き公僕として専心努力邁進したい覚悟でありますので、皆様におかれましても絶大なる御支援を賜わり、明るい町造りのため御協力あらん事をお願い致しますと共に、折角御自愛の上御精進下さる事を併せてお祈り申上げ御挨拶と致します。

生活を明かるく楽しくする講習会

主催 川口町公民館

◎期日＝八月十七日午前九時三十分
◎会場＝田麦山中学校
◎講師＝栃尾市 教育長 石綿致治氏
◎分科会テーマ
(イ)部落青年団や青年学級はどんなにやつたらいいか。
(ロ)くらしに役立つ婦人会活動はどうするか。
(ハ)明るい家庭生活をするにはどうしたらいいか。
(ニ)部落の祭りをもつとよくするにはどうするか。
(ホ)田麦山地区でどうしてもやりたい問題（地域課題）は何か。
◎話合題名＝農家がよりしあわせになるにはどうしたらよいか。
◎分科会助言者
県教育庁 社会教育主事
◎分科会司会者
第一分科会 桜井浩哉
第二〃 佐藤常
第三〃 佐藤正勝
第四〃 樋口三郎
第五〃 森山鼎一
◎分科会書記
第一分科会 森山正規
第二〃 森山セツ子
第三〃 小川博
第四〃 角張峯一郎
第五〃 樋口昭治
◎全体会議司会者
県社会教育主事 佐藤先生

9時30	
10.00	受付
10201	開会
	講演 お話をききましょう
11.40	
12.00	質疑応答
12.40	おひる
	映画 (イ)1枚のふとん (ロ)おやじ
後1.50	
2.00	移動
	分科会 みんなが話しあいましょう
3.50	
4.00	移動
	報告、討議
5.00	
5.10	閉会

おしらせ

社会教育法律一部改正法

川口町 教育長

この法律は社会教育について、さらにその振興を図るため、法律第百五十八号をもつて公布され実施することゝなり、改正の要点は、市町村に社会教育主事を置くことであり、今迄任意であつたのが、この法律によつて必ず置かなければならないこととなり、其の資格及養成等の規制があり、しかも社会教育主事の俸給は国庫補助によつてまかなわれるので、如何に時代は社会教育推進の急務であるかがうかがわれる次第である。

その他公民館及び博物館に対する国の補助に関する規定も整備されつつあり、当町に於ても十年余の社会教育の歩みの実際に鑑み、本年から各学校区毎に公民館の地区館を設置し活潑な活動を展開する計画である。

そこで第一に社会教育主事は当町に於ては昭和三十七年又は三十八年中に必ず一名設置しなければならないこと。

第二は社会教育関係団体の活動を助長するため、従来全面的禁止されていたこれらの団体への補助金の交付についても規定を改め、今後国または地方公共団体が社会教育団体に対し補助金を交付しようとする場合にはあらかじめ地方公共団体では、教育委員会が社会教育委員の会議の意見をきいて行うものとしたのである。

第三は町村において社会教育の中心的機関ともいうべき役割を果している公民館について、法律上公民館主事を設けること、及公民分館設置が認められたことは如何に公民館活動が地域住民のため必要であるかを痛感する次第である。

第四は町村に社会教育委員がなければならない。従来のその職務に加えて青少年教育に関する特定の事項について助言指導を行うことが出来るようにするとともに、社会教育委員及公民館審議委員には従来報酬を支給しないものとされていたのを、自治法第二〇三条に依り町村の他の委員同様に報酬を支給することができるようにしたことであるので、当町に於ては社会教育委員を今迄設置して居らなかつたので早急に設置して、社会教育振興のため理解と協力性ある適格者を選定して、教育委員会の認承を求めべく配慮中である。

みんなで踏切事故をなくしましょう

（つづき）

三、一日でどの時間帯が最も事故が多いか。

それではこうした恐ろしい踏切事故が一日の中どんな時間帯にもつとも多くおきているかといいますと午前八時から午後七時までの間でありますその時間帯の交通量にも比例するわけですから、夜間は交通量が減少してくるだけ事故件数も少なくなつていますが、踏切を通る人や車の通行数に対する事故発生の割合はむしろ午後七時すぎから深夜にかけての方がはるかに高くなつているのでありますから特に注意しなければならないことと思います。それは夜間は暗いため踏切の見透しが悪いこと、車を運転するに当つてつい仮眠したりまた酒に酔つて通つたりすることが案外に大きな事故をおこしているからであります。

四、もつとも事故の多いのはどの踏切か。

昭和三十二年度の統計からみますと、全体の八二％という事故が踏切警手も警報機もついていない踏切道でおきています。踏切警手がついている踏切は件数としては最も少くなつています。こうした事柄からやはり一般通行者の交通道徳が良くないということがいえると思います。

五、踏切事故の要因はどこからきているか。

踏切事故の要因の大半が全く列車に無関心で通つているのであつて、しかも悪性なことには、列車の接近を事前に知りながら通つたり、また無理矢理に横断するという通行者が少くないことであります。とかく日本人はあまりに物事に焦りすぎるといわれますが踏切事故についてもこのように多いという事実は単に不注意としてはすまされない大きな問題が含まれているように思われます。

六、ふみきり事故で最も多い原因はなにか。

実際にどんな原因から事故がおきているであろうか。警報機を無視しての直前横断が大半を占め、またフミキリ警手のいないフミキリでは一旦停止しないで列車の直前を横断したのが圧倒的に多く全体の九〇％も占めています。

役場チーム優勝

●●●●町長杯争奪野球大会●●●●

「中学校で野球の試合があるがんだと」「どこと、どこがやるがんでえ」「行つてみようや」「よし行こう」。こんな会話があちこちで耳に入る、これほど野球がさかんになつて来たとなりの父ちゃんも前のアンチャンもグローブもつて中学校へとんで行く。投げる、打つ、そして走る、汗がじーんと額をつたうあああいい気持ち、うちの母ちゃんの洗濯する時の顔がチラッと目の前をかすめる。

町にも十本の指で数え切れないほどチームが出来ている毎日の生活の中にこうゆう楽しみを見い出してそして明日への生活の糧としているのだ。こうしたチームの親睦融和をはかろうと例年行われている町長杯争奪野球大会が今年も去る七月四日を皮切りに六日間の熱戦の幕をあけた。参加チーム十三と昨年をはるかに上廻るチーム数でいずれも町長杯をわが手にせんものと闘志を燃やしてたたかつた。

大淵新町長の始球式ワインダップよろしくマウンド上より投球すればプレート前で大きくバウンド、キャッチミットに入る猛田球審大きな声でストライク!!。

試合は白熱化し、チーム構成良しといえ大淵監督を中心とする役場チームは好機を逃さず着々と得点を重ね、日頃の猛練習の成果を存分に発揮し第四回町長杯争奪野球大会の栄誉を手中にした。

各チームの成績次の通り。

一回戦
田麦山連青 6―5 変電区
川口駅 7―6 中継所
西川口 4―3 農協
ヤンキース 7―1 和南津
役場 14―7 田麦山大形

二回戦
川口駅 19―8 教員
田麦山連青 3―0 富町
西川口 16―4 相川
役場 5―2 ヤンキース

準決勝
田麦山連青 4―3 川口駅
役場 19―8 西川口

三位決定戦
川口駅（不戦勝） 西川口

決勝

役場	1	5	0	2	1	2	1	12
田麦山連青	0	4	0	2	1	1	2	10

（上） 優勝した役場チーム
（左） 役場チーム野口選手の打撃フォーム

町女子青年研修会開催さる

農村女性の地位向上が叫ばれてはいるがなかなか思うようにいかないのが現状であるこうしたもやもやしたものをお互いの力によつて取り除こうと去る七月五日西川口小学校を会場にして、町女子青年を中心に婦人会役員の応援助言を得て開催された。

この日予定した講師の欠席にもかかわらず、星町教育長の社会教育推進のために女性の果すか割が如何に大きいか明るい健康な町づくりのために今後役々精進願いたいと激励の言葉があり、参加者やゝ緊張の面持ちで分科会討議に入つた。

分科会は二つに分かれそれぞれ設定したテーマに従つて討議が進められ、最近農村女ぞが農村を嫁う傾向があり、これらの原因は何かと身近かな問題を取り上げ衆知をしぼつて話し合い和やかな雰囲気なうちに会を終了した。

指導 星野教育長、司会婦人会よりの古田島フクさん助言、星野婦人会長他数名
主催 川口町青年協議会
テーマ
「農村女性が農村をきらうという現在どこに問題点があるのだろうか」

（研修会参加者）

東部地区館、審議会委員

目黒寅吉	町会議員
原田監吾治	東部町内会協議員
上村正	〃
上村博	東部第三支会長
広井茂男	〃 第一支会長
金子健吉	〃 第二支会長
上村喜平治	商工会
関周久	〃
山吉勝治	〃
小山利夫	青年
中林昭一	〃
中林只二	農協役員
河上明	〃
大淵宥澄	宝積寺住職
古田島ノリ	東部婦人会長
窪田テツ	婦人会
小林テツ	〃
目黒タケ	〃
横田正久	公務員

地区館事務局

関丑松	公務員
川上徹夫	〃
山吉康三	蚕協勤務

川口町社会体育推進員誕生

既報の通り社会体育の指定に伴い社会体育推進員の設置が当局を中心として各地区館を通じて話が進められて来たがこの程全地区より報告があつたので公民館より正式に委嘱し今まで公民館の職員が出廻つていたのが推進員がその地区の指導者として活躍することになつた。

川口町社会体育指導委員
金子真（県教育委員会委嘱）
小宮山しず（〃）
山下克利（〃）
星野藤一郎（〃）

木沢地区	星野伸行
〃	星野フジ
〃	星野昭子
田麦山地区	桜井ヤス
〃	佐藤平憲武
〃	笹崎猛
和南津地区	関邦夫
〃	覚張栄一
〃	丸山ハルノ
中山地区	村山道竜
〃	平沢流哉
〃	北村ミユキ
西川口地区	山田英夫
〃	小宮山勝也
〃	関ナヲ
東部地区	関卯松
〃	目黒庄一
〃	関アイ
泉水地区	広井松枝
〃	山田チセ
〃	網智恵子
〃	宮トラ

時間を守る八ヶ条

一、集まる人の職場や立場を考えて始める時間と終りの時間をきめましょう
二、集まりの内容をおそくとも三日前までによくわかるよう通知しましょう
三、欠席やおくれるときは前もつて主催者に連絡しましょう。
四、会場では司会者の指図にしたがつて定められた席に遠慮なく着きましょう。
五、時間が来たら、たとえ少人数でも会を始めましょう。
六、発言は、はつきりとよけいな雑談はさけましょう。
七、司会者は定められた時間内に会を終るよう取計いましょう。
八、集まる人がおくれないよう、家庭も職場も協力しましょう。

主唱 川口町教育委員会 川口町公民館

民謡募集について

我々の町にもうたをのこそうと公民館事業の一端として町民のみなさんに絶大なる御協力をいただいて参りましたこのほどその数が十五通程度になり係もよろこんでおりますが、締切りをのばして八月末日迄受付けをいたしますのでどうぞふるつてご応募下さい。

ご投稿下さつた方には薄謝を差し上げます。どんな紙にでもおかきになつて川口町公民館民謡係へお送り下さい。

尚投稿者の氏名、年令、職業をお忘れなくお書き下さい

夏季衛生について

いよ〳〵本格的に夏がやつて参りました。この暑さと共に病魔も我々のすきをねらつて体内に食入ろうとして居りますから左記の注意事項や心得を必ず守つて下さい。

一、疫痢、赤痢、日本脳炎等の恐ろしい伝染病に特に気をつけましょう。
①食前と用便後と外出から帰つた時は必ず手を洗いましょう。
②生ものに注意し、食べすぎ飲みすぎを止めましょう
③夜おそく、つめたいものを飲んだり、ねびえをしないこと。
④気分の悪い時、体がだるい時、子供が元気のない時など必ず体温をはかり、あやしい時はすぐ医師に見せましょう。
⑤伝染病のもとハエとカをなくしましょう。

二、疫痢に付てお母様の心得
(1)グッタリして急に元気がなくなる。
(2)熱が三十九度から四十度に上る。（但し手足は冷たくなる）
③嘔吐したり腹痛がる。（この頃までに医師の手当を受ければ大体助かる）
④ヒキツケたり気が遠くなつたりする。

三、赤痢についてお母様の心得
(1)発熱して三十八度から四十度の高熱となる。
②腹痛と共に嘔吐や下痢が数回も起る。
③便には粘液や血がまじり、膿もまじる。
④伝染病の八割は赤痢患者で毎年全国では十数万人が此の病気にかかる。
⑤赤痢は菌が口から入るのですから、予防には飲食物に注意し、手をクレゾール水か石鹸で良く洗うこと。ハエをなくすること。
⑥早く医師の手当を受けること。

四、日本脳炎についてお母様の心得。
(1)急に三十九度から四十度の熱が出る。
(2)意識を失い（ひきつける）ケイレンをおこす、この状態が続いてそのまま死んでしまうのが百人中三十人位ある。
③この病気にかかるのは十才以下が七〇%。
④この病気をうつのは人間の血を吸う蚊に限られている予防には蚊をなくすることが一番大切である。予防注射は毎年受けるとよい。
⑤帽子をかぶらず長時間強い日射を受けると発病しやすい。

四、水泳について。
(1)水の中に入る前には必ず準備運動をやつてから入ること。
(2)学童は学校で示した以外の場所で泳がぬこと。
(3)上級生か大人の監視なき場所で泳がぬこと。
④危険物のある場所、急流をさけること。
(5)他の人がおぼれそうになつたら大声で人を呼ぶこと。
⑥川の水を飲まぬこと、上流に伝染病がいつも発生しているため。
(7)体の具合の悪い時は絶対にさけること。

暑中お見舞申上げます

昭和三十四年盛夏

川口町長 大淵鉄太郎
助役 佐藤邦平
収入役 石坂久平
教育長 星野輝政
職員一同

川口診療所 所長 医学博士 栗原稔
田麦山診療所 所長 宮川賢夫
木沢診療所 田麦山所長 出張診療